



一般社団法人 長野県環境保全協会

Nagano Association for Conserving Environment

未来に伝えよう かけがえのない地球

# エコシン

No.220 (2021.4.26)



## 脱炭素チャレンジカップ2021

(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット事業)

文部科学大臣賞 (社会活動分野) 受賞

飯山市雪エネルギー検討会議

ゆきむろ

### 「いいやま雪室」



令和3年2月9日、地球温暖化防止につながる活動を表彰する「脱炭素チャレンジカップ2021」のオンラインプレゼンテーション(写真)が、全国144団体から選ばれたファイナリスト28団体(市民・学校・NPOなど)により行われ、長野県で唯一ノミネートされた「飯山市雪エネルギー検討会議」の「雪室を利用した地域の特色ある商品の開発」が「文部科学大臣賞(社会活動分野)」を受賞致しました。



### ●応募のきっかけ～脱炭素社会に向けて～

豪雪地域に暮らしていると邪魔者として捉えがちな「雪」ですが、私たちはそんな「雪」をエネルギーとして活用することを研究し、三年目を迎えます。「雪室」は雪を冷熱エネルギーとして、農産物や商品を冷温保存できます。産官学連携による「いいやま雪室熟成そば」(写真右)をはじめ、雪室を活用した商品もちらほら完成の目途が立ってきました。



私たちの活動は直接二酸化炭素の排出を抑制することはありません。しかし、大

容量の冷温倉庫を電氣的に冷やそうとすると大量の電気エネルギーを要します。それはもう莫大な量ですから、電気エネルギーを一切使わずに冷やすことができる「いいやま雪室」を多くの皆様に知って頂くことは、2050ゼロカーボン(脱炭素社会)実現に向けたきっかけとして大きな

意味があると考えています。これが「脱炭素チャレンジカップ2021」にエントリーした理由です。

### ●それもこれも「雪」のおかげ

私たちの暮らす飯山市は豪雪地域で、除雪などに悩まされることも多いですが、同時に雪があることのありがたさもよく知る地域です。特に飯山の美味しいお米はこの雪解け水がなければできません。さらに観光の面からも、雪があることで全国、全世界から多くの方にお越し頂いております。特徴のある四季を持つ飯山市に「雪」はなくてはならない大切なものなのです。

地球温暖化による異常気象が常態化してしまつたら、飯山の特徴的な四季がなくなってしまうかもしれません。体感的にですが、ここ30年を振り返って「雪」はとても少なくなっています。除雪が進化したからだけではなく、「雪」の絶対量が減って「寡雪」という災害も起こっています。

### ●今年の夏は飯山に遊びに来て！！

構想を練ってきた「真夏のいいやま雪室まつり」をいよいよ今夏開催する予定です。雪が育んだ美味しい「雪室商品」を味わい、実際に雪室の中に入る「雪室体験」をお楽しみください。ぜひ多くの方にご来場頂き、いつまでも「飯山が飯山らしくあり続けられる」ためにも、脱炭素社会を実現する必要があることを感じて頂ければ幸いです。



(飯山市総務部公民連携推進室  
松川 億吉)

プレゼン動画(3分)は  
QRコードから→





**わが社の SDGs** —— 会員の皆様の取り組みを随時ご紹介します ——

**日野製薬株式会社** ～社業を通して社会に奉仕することを目指して～

日野製薬は、木曾の地に古くから伝わる胃腸薬の「百草」、「百草丸」をはじめとする生薬製剤を製造、販売しています。木曾の歴史や風土の中で先人の知恵と経験により生まれ、現代まで伝わる生薬製剤を大切に作り続け、未来へと継承していきたいと考えています。

当社の生薬製剤の主成分である生薬「オウバク」はミカン科の落葉高木「キハダ」の内皮(写真)です。オウバクは日本国内における採取量が年々減少しています。そこで「キハダ」をはじめとする薬用植物を自ら栽培、育成、採取し、**地産地消**を実現する取り組みを開始しました。生薬の地産地消は直ちに実現できるものではありませんが、30年後の未来を目指し、一歩ずつ歩いていこうと思っています。この取り組みが木曾の耕地の荒廃を防ぎ、様々な人々を集め、地場産業の活性化と豊かな暮らしに寄与することを願っています。



また、生薬製剤の製造においては環境に配慮した資材の使用、産業廃棄物の削減、バイオマス発電などの再生可能エネルギーの活用等にも取り組んでまいります。私共は木曾の地域の皆様方に支えられて今日まで事業を継続してまいりました。これに心より感謝し、今後も経営理念である「**社業を通して社会に奉仕する**」を目指し、SDGsを推進してまいります。

(専務取締役 石黒 剛)



**長野県信用組合** ～地域経済の持続的な発展をプロデュース～

長野県信用組合は、「**地域の魅力をプロデュースし、地域社会の新たな価値創造に尽くします**」を存在意義と考え、地域社会の発展に積極的に取り組んできました。地域の活性化、発展に努めることは、将来の世代に環境や産業を継承していくための重要な取り組みであり、このことは国連が提唱する持続可能な開発目標 (SDGs) と合致するものと考えています。

昨年、新型コロナウイルス感染症に対する事業継続計画 (BCP) の策定のニーズが高まったことを受け、具体的な従業員の行動基準や、感染者が発生した場合の業務フロー等をひな形として盛り込んだ「**新型コロナウイルス感染症対策マニュアル**」を策定しました。取引先企業等が自社に合わせた内容に編集することができるワード (Word) ファイルをホームページ上に公開しています。



また、「**長野から世界へ出航**」をスローガンに掲げ、クラウドファンディングサイト「**Show Boat**」を運営しています。プロジェクトを通じてブランディングや販路開拓の支援を行い、地域経済の活性化を目指しています。



その他にも**創業支援・事業承継に特化した融資商品の開発、知的財産に着目した経営支援**など、様々な取り組みを行っています。当組合では、今後も、SDGsの取り組みを積極的に行うことで、地域社会の持続的な発展に貢献していきます。

(総合企画部 藤澤 亮介)



## 長野市地球温暖化防止活動推進センター10年の軌跡

長野市地球温暖化防止活動推進センターは、平成22(2010)年10月1日に開設し、今年で11年目に突入しました。多くの方に支えられた10年でした。ここに10年間の活動をまとめ、ご報告いたします。

### エコドライブ

平成20(2008)年の「地球温暖化対策の推進に関する法律」の一部改正により、中核市でも地球温暖化防止活動推進センターの設立が可能となったことを受け、長野市でも当協会を市センターと指定し、センター開設に踏み切りました。

当初は参考とする事例も少なく、当時、市民の方に「地球温暖化」といってもご存じない方がほとんどでした。そこで、まず皆さんに、「地球温暖化とはどういったものか」

「今後はどうなるのか」をわかっていただくことを考えました。

長野市の一般家庭のCO<sub>2</sub>排出量をグラフで示し、排出量の多い自家用車からのCO<sub>2</sub>を抑える運転方法を学ぶ「エコドライブ体験講座」を計画しました。早速、エコドライブシミュレーター(写真①)を2台購入し、講座をはじめました。この講座は大変好評で、企業の研修(②)や、公民館活動として多く採用され、当センターの人気講座となっています。



①



②

【実績】受講者数=約**4,200**名、CO<sub>2</sub>削減量=**440t**(見込み)(10年間)

### ペレットストーブ

長野市らしい活動として、ペレットストーブ(③)の普及を目指し、ペレットストーブユーザーのネットワークを作り、「木質ペレット燃料購入補助金制度」を設けました。ネットワーク登録者を通じて詳細なアンケートを実施した結果、灯油暖房からペレットストーブ暖房に切り替えると、年間1t程度CO<sub>2</sub>が削減されることがわかりました。

【実績】ネットワーク登録者数=**362**名(～平成29年)



③

### 各種講座・イベント

環境出前講座(⑦⑧⑨)、自然観察会(⑥)、子ども達へのアプローチのための親子環境教室を実施、様々な環境フェアへの参加(④)も積極的に行っています。

最近では親子環境バスツアー(⑤)も実施しました。これは近隣の施設見学と自然観察会をセットにして、一日、親子で環境問題に触れていただき、話し合っていたくきっかけづくりを目的としています。

【実績】出前講座のべ受講者数=約**11,200**名(10年間)



④



⑦

今後も皆さんのご意見をいただきながら、「2050ゼロカーボン」の実現に向けて様々な活動をしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



⑥



⑧



⑨





## 〈市センター〉地球温暖化対策動画コンテスト表彰式

「地球温暖化対策動画コンテスト」の表彰式が、3月18日(木)、長野市役所で執り行われました。

この企画は、長野市と小布施町が令和元年度から環境面で交流をしているフィンランドのトゥルク市から、何か一緒にできることはないか、とご提案いただいたものです。一人一人が環境のためにできる取り組みについて、アイデアを多くの方と共有し、自分も何かやってみようと思えるようなきっかけ作りを目的としています。



昨年11月2日から今年2月1日までの募集期間に161作品も応募をいただき、動画を視聴した方々からの評価を参考に審査した結果、最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞1点に加え、市長賞1点を表彰しました。

表彰された下記記載の作品は、今後、環境イベント等での活用を予定しており、さらに最優秀賞を受賞した作品は、今年開催される予定の「第26回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP26)」などの国際会議での発表(公開)も予定しております。

表彰された下記記載の作品は、今後、環境イベント等での活用を予定しており、さらに最優秀賞を受賞した作品は、今年開催される予定の「第26回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP26)」などの国際会議での発表(公開)も予定しております。

表彰された下記記載の作品は、今後、環境イベント等での活用を予定しており、さらに最優秀賞を受賞した作品は、今年開催される予定の「第26回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP26)」などの国際会議での発表(公開)も予定しております。

賞	タイトル名	受賞者(敬称略)	写真
🏆最優秀賞	子どもたちに残すべきもの ～2050年二酸化炭素排出ゼロ社会の実現を目指して～	一般財団法人 地球・未来・共生 親子育てクローバー	I
🏆優秀賞	眠れない冬の夜、僕が考えたこと	国際経営支援事業協同組合 須賀光一	II
🏆優秀賞	長光プロジェクト (自然エネルギーで児童生徒の安心安全を守ります)	長野工業高校機械科3年 長光プロジェクト 代表 内山陸	III
🏆特別賞	地球温暖化防止啓発動画 「2071年の学校」	長野女子高校 進学コース2年	IV



### 最優秀賞受賞あいさつ

親として、子どもたちに素晴らしい環境を残したいと思い、「環境学習」に取り組んでいます。今回の動画は、普段私たちが家庭で行ったり、心がけていることを基に作成しました。多くの方に見ていただき、身近なことで温暖化対策ができることを知っていただき、行動するきっかけになればうれしいです。



動画の視聴はQRコードから



### 新会員紹介

(株)フロンティア 一般会員 上小支部  
須坂市役所 一般会員 北信支部

### 事務局だより 長野市センター職員の人事異動がありました。

長野市センター事務局長  
◇3月31日付 退職 片井靖夫 ◇4月1日付 着任 小野篤男

【発行元】 〒380-0835 長野市新田町 1513-2 (82 プラザ長野)

📖 誌名の「エコシン」は「エコ信州」の略称です

#### ●一般社団法人 長野県環境保全協会

TEL:(026)237-6620 FAX:(026)238-9780 E-mail:nace@janis.or.jp http://nace.main.jp/

#### ●長野県地球温暖化防止活動推進センター

TEL:(026)237-6625 FAX:(026)238-9780 E-mail:nccca@dia.janis.or.jp http://www.dia.janis.or.jp/~nccca/

#### ●長野市地球温暖化防止活動推進センター

TEL:(026)237-6681 FAX:(026)237-6690 E-mail:eco-mame@dia.janis.or.jp http://www.eco-mame.net/

